

自動はかりの計量管理に関する調査検討委員会報告会について

OTプランニング（株）

代表取締役：小野 威（計量士）

平成28年9月15日の13時15分から中国、四国地区を除いた青森から鹿児島までの計量士及び自動はかりを管理・使用している関係者約60名が参加して、（一社）日本計量振興協会主催の自動はかりの計量管理に関する調査検討委員会報告会が日本計量会館において開催されました。

この報告会において平成26年1月に立ち上げられた自動はかりの計量管理に関する調査検討委員会での活動内容（自動はかりの使用・管理状況、問題点、アンケート調査や国内外の自動はかりの実態、経済産業省の計量行政審議会答申案等）に基づいて、自動はかりの政省令改正の動向を含めた内容が報告されました。また、委員会メンバーの各委員から穀物、粉体、飲料、医薬品分野における自動はかりの計量管理の事例が発表されました。

各委員の方々からの発表・報告されたテーマは下記に示しております。

- － 挨拶（一社）日本振興協会 河住専務理事
- － 自動はかりの計量管理に関する調査検討委員会活動状況 課題と対応
（一社）埼玉県計量協会 副会長 金井委員長
- － 自動はかりの欧州における規制及びOIML規格の概要
（株）イシダ 担当課長 田尻委員
- － 穀物の計量管理（ホッパースケール）
東京計量士会 理事 高德委員
- － 自動はかりの計量管理（粉体）
神奈川県計量士会 理事 奥村委員
- － 飲料工場における計量管理
OTプランニング（株）代表取締役 小野委員
- － 医薬品の計量管理
（一社）東京都計量協会 理事 竹添委員

最初に（一社）日本振興協会の河住専務理事の挨拶の中で自動はかりの計量管理に関する調査検討委員会を立ち上げた経緯や計量行政の自動はかりに対す

る取り組みの現状についての説明がありました。

金井委員長から自動はかりについて、自動はかりの計量管理に関する調査検討委員会の活動内容、ホッパースケール・自動重量選別機・自動計量値付機の規制の要望、自動重量選別機・充填用自動はかりの計量管理のガイドラインの作成、経済産業省の計量行政審議会答申案についての説明があり、さらに今後の課題とスケジュールについての説明がなされました。田尻委員からはEUにおける自動はかりの規制に関してEUの法体系、CEマーク、ニューアプローチ指令、適合性評価モジュール、MID（欧州計量器指令）、EU各国の計量制度、OIML勧告についての説明がありました。

参考事例として高德委員からは穀物のホッパースケールの計量管理について、奥村委員からは粉体の充填用自動はかり、自動重量選別機の計量管理について、小野委員からは飲料工場における計量管理および製品用自動重量選別機、ケース用自動重量選別機、充填用自動はかりの計量管理について、竹添委員からは医薬品の計量管理についてそれぞれの発表が行なわれました。

各委員からの参考事例の発表後、参加者からの質問に答える形で、活発な討論がなされ、自動はかりの規制や計量管理に関して関心が高いことがわかりました。現在経済産業省の計量行政審議会に答申されている自動はかりの規制に関しては今後の成り行きを見守ることになります。

自動はかりの計量管理に関する調査検討委員会の報告会は成功裏に予定通り17時に終了しました。

全国の計量士及び計量関係者に自動はかりの規制に関しての情報を提供していく観点から（一社）日本計量振興協会は第2回の自動はかりの計量管理に関する調査検討委員会報告会を開催する計画があるとの事でしたので、関係者の皆様のご理解ご協力をお願いいたします。